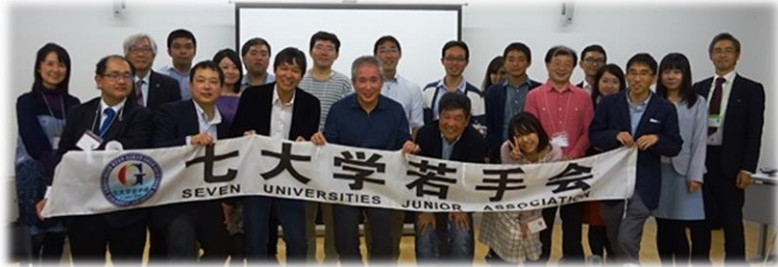


七大学若手会第9回 講演会



日本の未来に思いを馳せる

2018年10月27日(土)、東京都文京区の文京スポーツセンターにおいて、七大学若手会第9回講演会・年次総会が開催された。今回は来賓含めて二十八名が参加。なお、運営は、李役員、酒井役員が担当した。年次総会では会長選挙も行われ、ジーコ会長が再選された。

当日は爽やかな風を感じ、秋晴れ。若荷谷駅から公園の木立を抜けたところにある会場に参加者は集まった。まず、ジーコ会長が、若手会の設立趣旨を説明した後、会長の改選が行われ、同氏が再選された。今年七大学若手会創立4年目にあたる参加者一同、会のみますの発展を祈った。その後、学会から祝辞を頂くとともに、今回は特別に、化学界の大物シヨア博士からのメッセージが披露された。

続いて東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会にてTokyo2020イノベーション推進室長を務める平田氏からの講演会、さらにグループディスカッションが行われた。その後の懇親会では、名前ピンゲームも行われ、参加者は充実した時を過ごした。

学会から祝辞、 あの大物からメッセージも

一般社団法人学術事務局長の小堀氏からは、学会が百三十年もの歴史を誇る組織であることが紹介され、文化勲章やノーベル賞受賞者も数多く所属し、また、経済界や法曹界にも多くの会員がいるため、若手にも様々な面で刺激を受けられるであろうことが述べられた。次に有機化学を専攻した者であれば、誰もが知っている教科書「ポルハルトシヨア現代有機化学」で有名なカリフォルニア大学のシヨア博士からのメッセージが披露された。これは博士の息子さんが東北大学に留学していたことと、三宅幹事が博士と同じ、作曲家ブルクナーの足跡をたどるツアーに参加した縁で実現したもの。



Neil Schore

<シヨア博士からのメッセージ>
 From California I send you best wishes for success and happiness in your careers and your lives. I hope you appreciate the great Japanese traditions in art, music, and science. You should take opportunities to experience all of those traditions.



▽再選されたジーコ会長

会長再選

今年七大学若手会創立4年目で、会長改選期にあたり、ジーコ氏が再選された。今回は対立候補が立たなかったものの、ジーコ氏は、「若手会活動を盛り立て、次回は是非立候補を」と呼びかけた。

新役員誕生

幹事団リーダー尾西氏と、津田氏が新たに若手会役員に就任。運営層が厚くなった若手会の今後の活動に、乞うご期待。

学会の申込

当日は学会の申し込みブースも設置された。小堀氏と村松氏の巧みな勧誘と、若手会のキャッシュバックの後押しもあり、4名が新たに入会した。

賛助会員加入

阪大出身の齊藤氏が新たに加入。当日は大阪から駆けつけていただいた。

講演会

“史上最もイノベティブな大会の実現に向けて”

今回は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会にてイノベーション推進室長を務められている平田英世氏を講師に招き、2020年東京大会に関してご講演頂いた。知りたいけれどもなかなか知る機会がない大会の裏側や運営者の想いに触れる良い機会に、参加者一同聞き入った。



▽講演を行う平田氏

オリンピックというスポーツイベントにふさわしく、ポロシャツにスニーカーという軽快な立ちで演壇に立つ平田氏。あまりオープンにできない情報が公開されるという理由で事前公開されなかった極秘(?)資料を用いて、大会の目標や運営の苦労を語った。

東京五輪のテーマは「史上最もイノベティブな大会」。イノベーションへの挑戦の結果、「何らかの形で世界が変わる変化をもたらす」ことを目標としている。その鍵は、「最先端技術」、「日本文化の発信」、「SDGs」と平田氏は語った。運営面では、出身母体が異なる出向者や海外メンバーの多いダイバーシティに富んだ組織を束ねる苦労も語られ、32兆円もの経済効果が見込まれる大会で、どのようなイノベティブな影響が世界に残せるか、今後の動向に残念なる講演であった。



- ▽講演者来歴
- 77年 京都大学工学部電気工学科卒業、富士通株式会社入社
 - 09年 ソリテック事業本部長
 - 11年 常任理事アシタラフ・グループ創設者
 - 17年 同社社長
 - 17年 京都大学工学部電気工学科卒業、富士通株式会社入社
 - 09年 ソリテック事業本部長
 - 11年 常任理事アシタラフ・グループ創設者
 - 17年 同社社長

講師も交えて親交深まる

グループディスカッションと懇親会で

グループディスカッション



講演会後にはグループに分かれ、講演内容について参加者同士が議論し、平田氏に対する質問をまとめた。5グループあったが、各グループ毎に面白いほどに視点が異なる質問となった。グループ内でも、「ポランテアに興味があるが、そもそも誰のための大会なのか」と、「オリンピックをイノベーションにする理由があるのか」と、根本的な疑問も出て、多種多様な意見に盛り上がった。

懇親会



▽李役員の発声で乾杯

グループディスカッション後は、協賛で提供いただいた青島ビールを手に取り、李役員の乾杯で懇親会がスタート。講師の平田氏や学生小堀氏や村松氏もグループに加わり、参加者と交流を深めた。皆、テーブル席だけでなく、移動しながらの交流となり、終始楽しい雰囲気での歓談となった。

名前ビンゴ

今回の余興は名前ビンゴ。配布されたビンゴ用紙には、数字が書かれていない。自己紹介して、互いの名簿番号をマスに書き込んでいき、全員と挨拶が済めば、全てのマスが数字で埋まってビンゴ用紙が完成するという仕組み。制限時間内にビンゴ用紙を完成させるべく、参加者は競い合うように、まだ挨拶をしていない相手を探して積極的にアプローチ。互いに番号や名前を書いてもらう必要があったため、年の差を超えて盛り上がる事ができ、交流が大いに深まった。早くビンゴになった参加者には賞状が贈呈された。受賞者は全員女性の中、なぜかジコ会長が3位に入るというオチがあった。

二次会も参加者多数

ビンゴ大会でウォーミングアップした参加者の多くが、二次会に参加。駅にほど近い居酒屋で、二次会からの参加者も交え、自己紹介した後、乾杯となった。お互いの近況や若手会メンバーの面白話をはじめとして、講演会の後ということもあり、仕事や社会の話など、それぞれの将来に向けた話が多く、七大学の卒業生が互いに大学の枠を超えて集まること面白さ、それを継続させていくことの素晴らし



さなどを語り合い、今後とも若手会を盛り上げていきたいという思いを新たに、一本締めを終了した。



△ 激論中？いえ、ビンゴの勝者を判定しているところ



△ 平田氏もビンゴで交流

幹事団紹介



副団長・司会 前田さん



団長 尾西さん



副担当役員 酒井さん



担当役員 李さん



受付 野口さん



広報 沖元さん



余興・受付 三宅さん



名簿・余興 鈴木(翔)さん



司会 鈴木(梨)さん



新聞編集・写真 鶴田さん



受付・ビデオ 湊さん



写真 長田さん



写真 宮野さん



二次会司会 足立さん

- ① 幹事のOK氏、AT氏、ON氏が元々同じ金融機関で勤務していた仲間だったが、現在は其々別な会社。しかし、長年連絡していなかった3人が、何と、若手会で奇跡的な再開。
- ② 幹事団は中々全員集まらないため、WEB会議を活用。幹事団長尾西氏がZoomを強力的にお勧めし、画質や音質とも最高でJico会長も絶賛していたが、何と会議途中で突然切れてしまった。原因は「無料の場合最大40分間まで」、それで会長が即「これは使えない」と却下した。2回目からは定番のスカイプで。
- ③ 幹事団会議後の食事会では、本番の青島ビールでの乾杯の練習を行った。ちなみに青島ビールは本番は無料で店はかなりの高価。



幹事たちの印象に残った出来事



- ① ジコ会長、母校のホームカミングデイに参加
- ② 山西特別顧問と会食

今後の予定

- ◆ 12月15日(土) 若手クリパ
 - ◆ 1月19日(土) 若手昼食会、★大阪初開催★
 - ◆ 4月6日(土) 若手花見大会
 - ◆ 7月6日(土) 七大学若手会設立50周年記念大会
- ① 11月3日、京都大学ホームカミングデイにジコ会長が参加。限られた人だけが参加できる同窓会役員会議にも出席し、若手会の宣伝に努めた。
- ② 11月22日、9月の京大若手会年次総会・講演会で講師を務められた、山西三菱電機特別顧問と七大学若手会役員との会食が開催され、ジコ会長の他、賛助会員の桑原氏、杜氏等が参加された。